

# 新しい「静岡県の“みちづくり”」の考え方（素案）

資料4

近年の道路を取り巻く社会情勢の変化を踏まえて、新たに「静岡県の“みちづくり”」を策定します。

## これまでの計画

### 背景

- 道路特定財源の一般財源化
  - ・深刻な予算不足が想定
- それまでの社会情勢
  - ・少子高齢化の急激な進展
  - ・地球規模での環境問題の深刻化
  - ・道路施設維持・更新費用の増大

### 【(当時)現状と課題】

- 幹線道路網が整備途上
  - ・南北軸などのネットワーク整備
- 深刻な交通渋滞(特に県内東西軸)
- 地震や台風・集中豪雨等災害への懸念
  - ・山間地等での通行止め
- 多発する交通事故
- 維持・更新需要の増大

### 【概ね10年間のビジョン】

#### 基本理念、目標と施策の方向

**基本理念** 快適に人やものが行き交う地域づくりを支える道路を目指します。

産業の支援や交流の拡大を図る“しずおかのみち”

県民が安心・安全に暮らせる“しずおかのみち”

環境や景観に配慮した“しずおかのみち”

※県と政令指定都市が共有する静岡県全域を対象としたビジョン

#### みちづくりの視点

整備・活用・保金を総合的に行う道路マネジメント

整備(つくる) 活用(いかす) 保全(まもる)

#### その他

県全域で見る施策の全体像、地域計画 等

## みちづくりを取り巻く最近の現状

### 現状と課題

- 県内東西軸で深刻な渋滞
  - ・新東名で一定程度解消したが、都市部を中心に交通渋滞は発生し、通過交通が生活道路に流入(都市部の環状道路の整備や交差点対策の必要性)
- 依然として多発する交通事故
  - ・H13をピークに減少傾向だが依然全国ワースト3位・全国で児童やツアーバス等で重大な事故が発生
- 頻発する集中豪雨通行止め
  - ・北遠地域や伊豆半島などの中山間地を中心に未改良区間や事前通行規制区間が多く、多大な被害
- 維持・更新費用の更なる増大(5年前より一層加速)

### 社会経済情勢の変化

- 新東名開通のインパクト
  - ・災害発生時における輸送路への期待、SA・PA利活用
  - ・現東名通行止め時のダブルネットワーク機能 他
- 東日本大震災の発生
  - ・減災対策の必要性の高まり
  - ・迅速な地域の復旧・復興における道路啓蒙の意義
- 富士山世界文化遺産への動き
  - ・世界遺産登録を踏まえ周辺環境保全管理の必要性
- 都市部への産業・人口の集中、中山間地との格差拡大
- ・人口減少、高齢化が伊豆半島、北遠地域で顕著

### 予算状況

■道路関係予算の減少

- ・H24はH7の約29% (当初予算比較)
- ・H20からの5年間で予算が約2/3に減少

道路関係当初予算 (億円)

ピーク時の約29%削減

5年間で約2/3に削減

(政令市移行)

抜本的に見直し

### 現在の県の関連計画

- 静岡県総合計画(富国徳の理想郷“ふじのくに”づくり) (基本構想:平成22年度から概ね10年間;基本計画(H22~H25))
  - 命を守る 危機管理 ・災害に強い地域基盤
  - “ふじのくに”の徳のある人材の育成
  - “ふじのくに”の豊かさの実現
    - ・自然と調和する美しい景観の創造と保全 等
  - “ふじのくに”の自立の実現
    - ヒト、モノ、地域を結ぶ「基盤」づくり
      - ・陸・海・空の交通ネットワーク機能 等
    - 「安全」な生活と交通の確保 ・総合的な交通事故防止対策 等
- 内陸のフロンティアを拓く取組 (安全・安心で魅力ある“ふじのくに”の実現)
  - 「防災・減災機能の充実・強化」、「地域資源を活用した新しい産業の創出・集積」、「暮らしを支える基盤の整備」等を基本目標に、新東名高速道路を活かして内陸部、都市部、両地域の連携等を推進。
- 東海道新時代を築くふじのくに交通ネットワークビジョン(2012-2027)
  - 〔新東名高速道路、中央新幹線などのインフラの成長にあわせ、東海道が持つ交通機能を最大限に利用し活用することで実現していく、静岡県の交通ネットワークの未来像とそれを実現する施策をまとめたもの。〕
  - 5つのビジョンと、ビジョンの実現に作用する処方策を提示。
    - ①既存ネットワークのチェックと強化、②東西多重ネットワークの実現、③県内地域交流ネットワークの充実 等

策定中の静岡県社会資本整備重点計画とも整合予定

## 新しい静岡県の“みちづくり”

### 策定方針

新たに「ビジョン(概ね10年間)」と「道路重点計画(平成25~29年度)」を策定

### 基本理念のイメージ

命を守る

緊急輸送路の確保(既存道路の耐震化) 山間地の通行止め解消

総合的な事故防止対策

東西軸と沿岸部等を結ぶネットワーク

新東名と東名を結ぶネットワーク

地域交流ネットワーク

ミッシングリンクの解消

構造物の長寿命化

道路の機能分化

滞滞対策

自然環境の保全管理

良好な景観形成

生活環境改善

豊かさ

自立

### 課題への対応策

- 地震や津波・集中豪雨等の災害への懸念 ⇒
  - ・命を守り、復旧復興を支える高規格幹線道路整備の推進(ミッシングリンクの解消)
  - ・既存道路の耐震化による緊急輸送路の確保
  - ・豪雨等による山間地道路の通行止め解消
  - ・東西軸と沿岸部等を結ぶネットワークの整備推進
- 依然として多発する交通事故 ⇒
  - ・児童の通学路対策を含めた総合的な事故防止対策の推進
- 新東名高速道路等の高規格幹線道路を活かすネットワークが整備途上 ⇒
  - ・交流圏を広げ、地域格差をなくす南北道路等の地域交流ネットワーク整備推進
  - ・産業活動の活性化のため新東名と東名を結ぶ東西軸多重ネットワークの強化推進
- 道路構造物の急速な老朽化の進展 ⇒
  - ・構造物の計画的な維持更新による長寿命化
- 深刻な交通渋滞などによる生活環境の悪化 ⇒
  - ・自動車専用道路、主要幹線道路、生活道路の機能分化を推進(都市部の環状道路、主要幹線道路、スマートICの整備や交差点改良等の渋滞対策)
- 自然環境や都市景観と調和しない道路空間 ⇒
  - ・自然環境の適切な保存管理の強化、良好な景観形成

### みちづくりの視点

道路マネジメントの積極的な推進と柔軟な投資

維持・更新費用の増大、厳しい予算状況のなかで、喫緊の課題に応えるため、従来の投資バランスに拘ることなく、柔軟に対応

今ある道路をより有効に活用(いかす)

今ある施設をより効率的に保全(まもる)

整備・活用・保金を総合的に行う道路マネジメントの取組み徹底

真に必要な道路を整備(つくる)

今後、皆様の御意見を伺いながら、案をとりまとめ、パブリックコメント後に公表予定です。